

福岡県米麦大豆生育情報

平成29年9月29日
福岡県農林業総合試験場

大豆の生育概況と今後の対策

1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	7月10日～9月20日 (73日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	27.6	32.4	23.9	427	360
前年差(比)	+0.3	-0.1	+0.3	99	58
平年差(比)	+1.3	+1.4	+1.1	110	68

2. 農林業総合試験場における大豆の生育概況

7月10日～9月20日の気温は平年に比べ1.3℃高く、日照時間は10%多く、降水量は32%少なかった。9月17日に九州に上陸した台風18号の影響で、9月15～17日にかけて最大瞬間風速10m/秒を超える風が吹いた。

7月10日播の開花期は平年並であった。9月20日時点の主茎長は平年に比べて13%長く、主茎節数は0.7節多く、莢数は7%少なく、地上部乾物重は2%重くなった。倒伏程度は台風18号の影響で中～多となった。

7月24日播の開花期は平年より3日早かった。主茎長は平年に比べて8%短く、主茎節数は0.4節少なく、莢数は14%少なく、地上部乾物重は6%軽くなった。倒伏程度は台風18号の影響で多となった。

3. 農林業総合試験場農産部における調査成績 (フクユタカ：9月20日調査)

播種期	年次	開花期	主茎長	主茎節数	莢数	地上部乾物重	倒伏程度
月・日		月・日	cm	節	/m ²	g/m ²	
7.10	本年	8.19	78	16.5	1266	676	中～多
	前年比(差)	-2	122	+2.6	85	111	無～少
	平年比(差)	±0	113	+0.7	93	102	-
7.24	本年	8.28	56	13.5	856	476	多
	前年比(差)	-1	89	+0.2	68	90	少～中
	平年比(差)	-3	92	-0.4	86	94	-

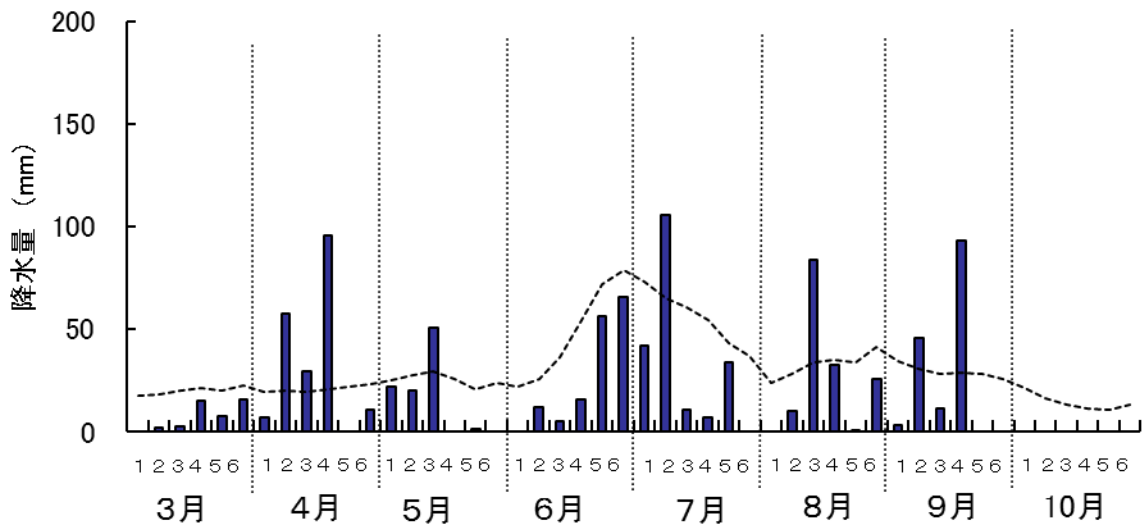
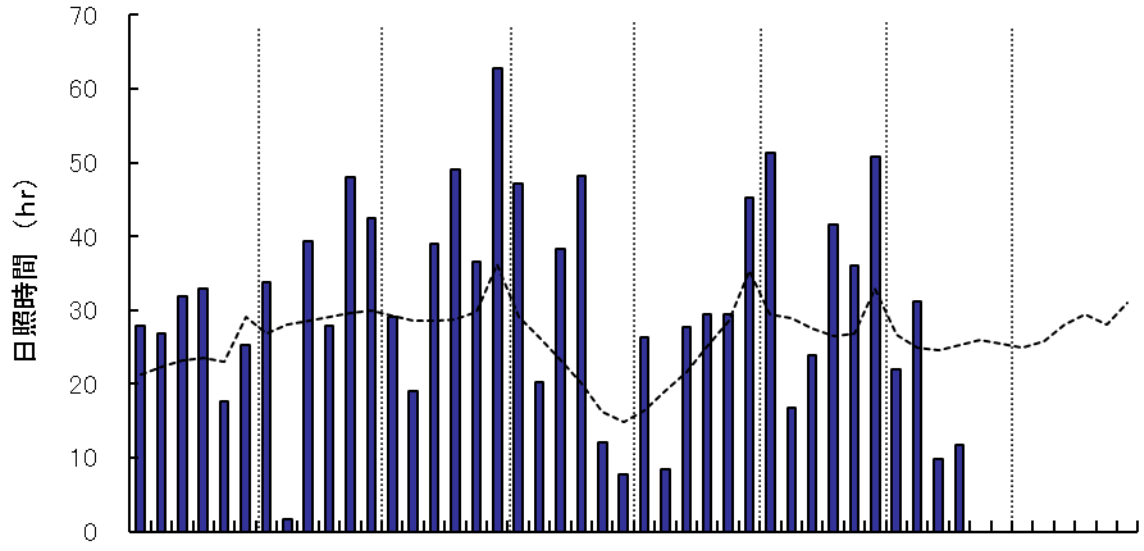
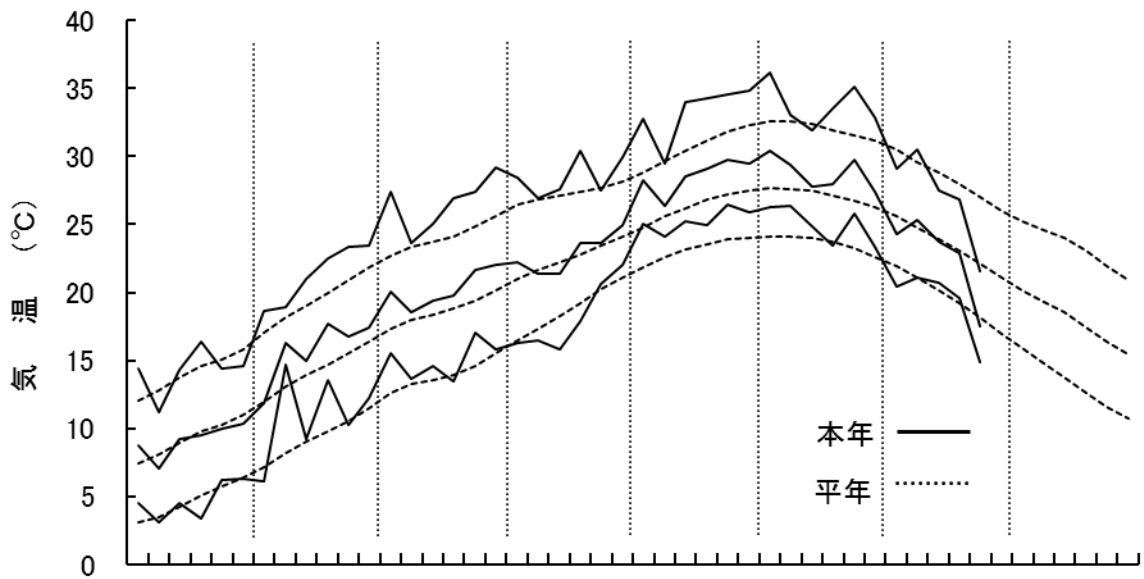
注1) 平年値は平成19～28年の平均値。なお、7月24日播種の主茎長、主茎節数、莢数および地上部乾物重は、平成19、21、22、24、25、26、27、28年の8カ年の平均値。

2) 播種密度 7/10：70×20cm(7.1株/m²、2本立) 7/24：70×15cm(9.5株/m²、2本立)

3) この数値は暫定値で今後変更することがある。

4. 今後の対策

ハスモンヨトウやカメムシ類の発生状況に注意し、紫斑病とともに適宜、防除を実施する。排水口の再整備や枕地作溝を行い、降雨によるほ場内の停滞水が生じないようにする。雑草の発生が多い圃場では、特に大型雑草の抜き取り等を行い、収穫時の汚損粒発生防止に努める。



2017年(平成29年)夏作期間の気象(太宰府アメダス)